

社会と教会
生活と信仰
平和・人権
分かち合い

No.30

聖家族有志会報

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

うづき
卯月
4
2013

はた

障がい者と一緒に

姫野水池を歩こう会

自由参加です。

4月7日(日)11時スタートします。

集合所／姫野水池白木橋駐車場

昼 食／姫野キャンプセンター
お弁当と水筒を持参ください。

ピンゴゲームをします。

募集

ピンゴ景品を集めています。
ACO(アセオ)会員もしくは
編集部に届けて下さい。子ども達が
ピンゴゲームの景品を楽しみにして
います。ご協力下さい。

希望者に郵送します

「共に生きる」紙ご愛読有難うござります。またカンパをいつも有難うございます。ご都合で本紙を受け取れなかつた方のために郵送致しますので、ご希望の方は、編集部までFAXください。

お知らせ

- ◆4月7日(日)歩こう会 姫野水池白木橋駐車場…11時
姫野キャンプセンターで昼食。ピンゴ他～14時50分解散
- ◆4月8日(月)社会福音部会(アドラック) …19時
- ◆4月11日(木)イチイチ祈りの会 修道院 …19時
- ◆4月27日(土)キリスト者九条(西南KCC)…14時
- ◆4月28日(日)虹の会(黒崎教会) ミサ後～
- ◆4月29日(月)恵楓園訪問(修道院駐車場) 8時出発
詳細はp6をご覧ください。
- ◆5月3日(日)9条まつり(勝山公園)…10時30分
憲法集会(ムーブ)13時～ 伊波洋一元宜野湾市長

古いも若きも、
女性も男性も
信仰あるなし関わらず

3月10日(日)
勝山公園

前日は4月下旬の暖かさでしたが、当日は朝から雨模様の寒い日となりました。それでも福島第一原発事故からもなく2年を迎えるこの日は、原発のいますぐ廃止を願う400人の市民が集いました。

第一部が10時開始。34店舗が会場を囲み、うたごえ、バンド演奏、大学生による大道芸などが披露され、第二部へ。廣瀬隆さんらによるトークリブ。そして棚次代表世話人の「原発をなくそう」の呼びかけに大きな拍手が起きました。震災の起きた時間に全員で黙とうを捧げ、「フクシマとつながり、原発になりました。キリスト者九条は原発ノート内で参加した市民に原発テント内で参加した市民に原発宣言」とさよならすることをここにと宣言し、市内パレードに移りました。

人間として
原発のいますぐ廃止を

4千人の市民が願いを行動に

ときのことば

人生は素晴らしい
恐れの気持ちさえ持たなければ…
何よりも大切なのは勇気だ。創造力だ。
(チャールズ・チャップリン)

援助修道会 修道院より

4月11日:イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。
どなたでもお出でください。

子ども達の将来を考えていますか？

キリスト者
九条の会

平和憲法どうなる？

母親たちがパンフレットを作りました！

平和憲法が

こう変わる

- ・憲法を守るのは国家 ⇒ 憲法を守るのは国民
守らせるのは国民 守らせるのは国家
 - ・天皇は国家の象徴 ⇒ 天皇は国家の元首
 - ・戦力は保持しない ⇒ 国防軍を保持する
 - ・表現の自由を保障 ⇒ 公益、公の秩序を乱す
ものは認めない
 - ・基本的人権の保障 ⇒ (削除)

「キリスト者九条の会・北九州」九条守りたい

私たちはこんな思いでこれを作りました。

- ・私には3人の孫(6歳、3歳、2歳の男の子)がいます。この子たちが成長して、戦場で殺したり、殺されたりすることのないようにとの切なる願いからこれを作りました。(M)
- ・罪のない子供たちが紛争に巻き込まれ傷つき殺されていく歴史に終止符を打つために、信頼し合って生きる道を世界に示せるのは、平和憲法を持つ日本であり、わたしたち母親なのだと思います。(K)
- ・世界の国々に憲法九条が広がっていけば、地球上から戦争が無くなるはずです。平和憲法を変えることに『NO!』とみんなで声を上げなければ、戦争のできる国になることを認めることになります。もう二度と戦争をしない、平和な世界を子どもたちに残したい!(ぼー)
- ・幼い頃から我が家には戦争で精神を病んだ大叔母がいました。私の原体験は「戦争は人を壊す」というでした。日本は68年経って、また「戦争のできる国」に変えようとしています。憲法9条は世界の人々から自国の憲法にと望まれています。武力によらない平和を人類は求め続けています。

「剣をとる者は剣で滅びる」（聖書：マタイによる福音書26章52節）（菜）

ご希望の方は高瀬まで

大震災からの立ち上がりと原発廃止に向けて 3月10日

難民移住移動者委員会 セミナー（大名町教会）

ハルノコー神父のお話→



宮原司教司式によるミサ。 ←



キリスト者九条の会のテントでは、内部被爆パンフやひとつみ箋などを販売し、なんと完売してしまいました。



さよなら原発北九州
市民集会(勝山公園)

憲法九条が出てくる不思議な
ボールペンに、仮装市民が思
わず「ぼく買います！」正体は、
さわやかな青年でした。

This image shows a page from a children's book. At the top left is a green Earth with red hearts. To the right is a blue Earth with a black cross through it. The page contains Japanese text in various fonts and colors. A large question at the top asks if the US is trying to stop others. Below that is a section titled '憲法' (Constitution) with numbered points. A large 'Q & A' section follows with questions about the constitutionality of various policies. A large pink banner at the bottom asks if the US respects children's rights. There are also small illustrations of a dove and a flower.



私の人生は今こそ私のもの
希望にすがってここまで歩んできたけど
私にかけていたもの、そして得たもの

それが私の選んだ生きる道
言葉を超えたものを信じづけ
天国は見つかならなかつたけどほんの少しだけそれを垣間見た

生きている喜びを心から感じたい
私に残されたこれから日々：い
自分の思うままに生きていこう
私はそれ値すると誇れる人間だから

自分を見失つたことはない
今までそれは胸の奥でねむつていた
チャンスに恵まれない人生だつたけど
生きたいという意思が私を支えてくれた

今は私が望むのは日々の幸せ
本当の自分に立ち戻つて自由に
何にも負けず強く、そして自由に
ここまでたどり着いた私

そう、私の人生は私のもの！
探し求めていたまぼろしの天国
それは近くにある、どこか近くに

私はこう感じたい、
私は自分の人生を生きた！」と

岩手県・大船渡ベースと仙台教区外国人支援センターでの8日間ボランティア体験

有吉 和子（3）

（11月19日）

秋晴れの寒い朝です。朝7時のミサに参加しました。み言葉に背中を押されるような感じです。その後ベースに戻り、朝のミーティングです。その日ごとにいくつかの活動を知られ、その中で希望する活動につくことが出来ます。今日の私の活動は漁業支援です。

大船渡はリアス式海岸の豊かな漁場だと聞いていました。楽しみです。

朝8時半ベースで支給されたカッパ上下と長靴を着用し、ジュード神父様はじめ男性3人と私の4人で車に乗り込み海岸へ向かいました。仕事内容はホヤの種付け手伝いです。ホヤの養殖は震災後に

初めて取り組むようになったと聞きました。ホヤが成長して食べられるようになるまで3年かかるそうです。ぜひ成功して欲しいと心から願いました。

カキの殻を1本のロープに10個ずつ位等

間隔にはさむ作業を2人一組で何本も作りました。

寒さで手がかじかみ、要領の悪い私はなかなかカキの殻をはさむことが出来ませんでした。昼近くになり仕事が一段落すると、養殖主の漁師さんが船で私達を沖に連れて行ってくれました。そして、御自分のカキの養殖筏に案内し、説明してくれました。カキの養殖は1年かかるそうです。話を聴きながら、私は育てる海、母なる海の偉大さを感じました。



また、漁師さんは津波でそれまで大切に育てていたカキが全滅したこと、その時の絶望の想いを淡々と話してくれました。そして、仮設住宅での生活をしながらも希望をもって漁業を復興せらるんだと明るく話してくれました。その温かく優しい笑顔が忘れられません。仕事の終わりに、震災後の去年8月に種付けして育ったカキをお土産にいただきました。夕食のときベースの皆さんと大切にご馳走になりました。感謝。（つづく）



戦時下的くらしと憲法9条



石井 方子さん
八幡東区在住 (4) 全6回

ると見えません。サボつておしゃべりをしました。それが動員される前の女学校生活の唯一平和で楽しい思い出です。

貴金属の供出についてはどうされてたのでしょうか。銅像やお寺の鐘もなくなりました。松の根も掘りました。「ゼイタクは敵だ」「ほしがりません勝つまでは」「進め一億火の玉だ」「敵は物量 我々に大和魂」「撃ちてしやまむ」などの標語がいたるところに張られ戦意高揚が図られました。映画館でのニュースは、勇ましい音楽とともに大東亜戦争完遂へという字幕から始まりました。鬼畜米英の米英は、バカげたことですが、のちに獸偏の米英に変わりました。防火訓練も、竹やりの訓練も隣組を通じて行われました。役にも立ちそうに思えないのに非常に迷惑なことでした。軍隊に取られてないおじさんたちは警防団という組織に組み込まれ、訓練の指揮をしました。以前は腰の低い商店の叔父さんだった人が、権力の末端となつて高圧的に威張りだしたりしました。家の横には、防火水槽、火たたき、バケツを備えることが義務付けられました。空き地や庭や運動場は、食料の確保のために掘り返され主食になるお芋や野菜畑に変わりました。私のうちの庭も、父が大切にしていろいろの種類のバラが抜き取られ、防空壕と野菜畑になりました。学校ではヒマを栽培しました。その実を取つて飛行機の燃料にするということでした

た。ヒマはとても背の高い植物でその陰に座わると見えません。サボつておしゃべりをしました。それが動員される前の女学校生活の唯一平和で楽しい思い出です。

強制疎開も始まりました。空襲による延焼を食い止めるために一定区間の間隔で建物を壊し空き地にするのです。線の中に入つたら合意など必要ありません。否応なく引き倒された建物の後かたずけには小、中学校の生徒が駆り出されました。壊れた材木の上を渡り歩いて、かたづけるのです。材木には大きな釘が上を向いて突き出ていて、注意してもしばしば踏み抜きました。大変きつい仕事でした。原爆でたくさん少年少女が疎開の後かたずけに動員されて亡くなっています。

昭和19年に入ると米軍の本格的な本土空襲がいよいよ始まりました北九州の八幡製鉄への空襲がその皮切りでした。中国から飛んでくるので航続距離の関係で八幡になつたようです。町の開業医は、拠点が決められ拠点にならなかつた医院の医師は、空襲警報が出ると拠点の医院に駆けつけます。警防団も怪我人の搬送、救護にあたる人が決められていました。父の医院は拠点の救護所とされました。父の救護所に所屬する警防団員は十数人



横穴式防空壕

大月書店「子どもたちの昭和史110P」より

でした。空襲になると当時の八幡女学校の生徒が助手として5・6人くらい来ることになります。姫ゆり部隊のように。父は、「そんな学生が来ても役に立たん。こつちはけが人のことで手がいっぱいの時に学生の安全まで心配せなならん」と言いながら庭にもう一つ防空壕を掘りました。そして19年6月16日の最初の空襲に続く8月20日の空襲。けが人と死者が出ました。爆弾が落ちるとき、風を切る音がザワーとします。今度自分の上に落ちるかと思つて息を詰めます。爆発音がしたら、よそに落ちたとホッとします。その繰り返しで神経が痛めつけられます。父親を残して一家全滅の家族が2組、十数人がずらりと待合室に並べられました。その父親が暗くなつて勤め先から駆けつけました。そして子供を抱きしめて「お父さんが悪かつた」と幾度も繰り返して号泣しました。女学生も周りにいた人もみんな声を上げて泣きました。お父さんはきっと傍にいてやれなくて許してという思いだつたのでしょう。私はちつとも悪い事なんかない、と思いながら泣きました。夜おにぎりを母が子供たちに握つてくれたけど、誰も食べずに蠟燭の前にいつまでも置かれていました。蠟燭の炎が揺れて離れた待合室から、泣き声が漏れてきます。忘れられません。八幡女学校の生徒は壕に入りませんでした。私は震えのばかりだつたのに怖い爆撃の中それこそ一生懸命に手あてを手伝い、負傷者を励ましたそうで、父は感動し女学生を邪魔者のようにいうことは以後二度とありませんでした。（続く）

ぎょうざ作りに参加して（マロママ）

3月2日（土）のぎょうざ作りに参加しました。皆さんとおしゃべりしながら、その時間のなんと楽しかったこと。教会で、このように楽しく和やかな時間を参加された方々と共有できたことは、私にとってとても貴重な恵みの時でした。

唯、教会へ行き、ミサにあずかるだけではなく、自分が参加できる様々な活動に一步踏み出せば、心温まる、楽しく有意義な時を味わうことが出来ることを体験しました。

勿論、自分たちで作ったぎょうざの美味しかったことは言うまでもありません。この機会を私に伝えて下さった方と、指導して下さった先生、一緒に過ごしていただいた方々との出会いに感謝一杯です。



ツイッター

家庭新聞「あのね」23号届きました（S）

遠方に住んでいる息子は、年数回、家庭新聞を作りメールで送ってきます。今回は子供達の写真がいっぱい。昨年のベストショット画像は、No1、三輪車をこいでいる途中で寝てしまった3才の長女の写真。

No2、お尻を上に顔は床に、そのままグーの1才の次女の写真。…でした。

今後は、入園・運動会・発表会と続く予定。家族サービス頑張ってね。

日本漫画家協会
日本漫画家会議



にし やま すすむ 西山 進 さんの 諷詩

だまつて
おれなくなつて

再び被爆者をつくるな
「ふたたび被爆者をつくるな」
「被曝者は報復しない」

何と崇高な理念だろう

しかしそれをいいことにして
アメリカや電力を独占する奴らは
「安全神話」と、あふれるような金を

活断層のうごめく
原発をつくつた
ばらまいて
この地震列島に54基の

そして3.11
日本は被爆国から
加害国になっていく
もうヒロシマ、ナガサキの被爆者だけが
被爆者ではなくなっていく
これが
そんな日本がやつてきた
仲間たちよ 団結しよう

西山進さんは現役の社会諷刺漫画家です。詩人ではありませんと前置きした。ご了解のもと掲載します。

読者投稿

「呑足味知」（ぱーさん）

「吾唯足るを知る」

京都 竜安寺の躰で有名な、孔子の言葉ですが、最近面白いのを見つけました。



お酒の好きな方は拍手喝采するかもしれませんね。

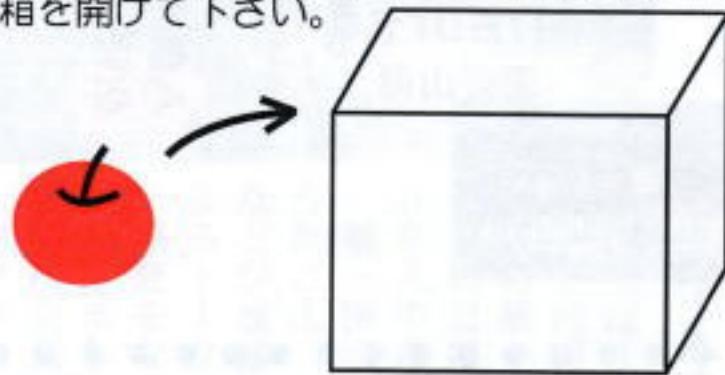
「呑み足りて味を知る」！
(かんぞう君のためには、やはり「足るを知る」方がいいでしょう…?)



“頭の体操”の時間で～す (R)

デイサービスでのクイズのひとこまです。みなさん分かりますか？

箱の中にりんごを入れたいのですが、箱は閉まっています。図に棒を一本書き加えて、箱を開けて下さい。



Tuさん有難う (Y)

おいしかったです。腹一杯飲みましたヨ。今度は私がみなさんを招きたいです。とりあえずツイッターで御礼申し上げます。





広い園内



カトリック教会



歸林室



正義と平和協議会からも様々

ひ行われる予定です。
韓国や北朝鮮との間でい
くら国際問題があろうとも
在日韓国・朝鮮人に対して
殺人教唆する行為は、公共
の平穏を乱し、人間の尊厳
を傷つけるもので、決して
許されるものではありません。

「在特会」などによる異常デモが東京・新大久保(2月9日)大阪・鶴橋(2月24日)で行われました。そこでは
「朝鮮人 首吊レ 毒飲メ 飛ピ降リ口」
「良い韓国人も悪い韓国人もどちらも殺せ」
「ハヤククビツレ チヨウセンジン」(新大久保)
「鶴橋大虐殺」(鶴橋)

などが主張され、「殺せ 殺せ 朝鮮人」といつたシユプレヒコールが繰り返されました。3月31日には「新大久保排害カーニバル」なるデモが再

近づきました

「在特会」(在日特権を許さない市民の会)
などによる異常デモが発生

正義と平和協議会から届いたニュース紹介

正義と平和協議会からも様々
ニュースが編集部に届きます。紙
面を工夫しながら、届いたニュース
を読者の皆様に提供してまいり
たいと思います。編集部

編集後記

「在特会」の行動は、なんと情けない国になつたのだろうと残念でしかたありません。これに若者も参加するとのことです。果たして心底「殺したい」と考えているのでしたら、まさに病気です。何がそうさせているのでしょうか。共に生きようとするのが人間です。神を信じようと信じまいと“人間としてごく当然”的、生きることを大切にする思いが欠如しています。しかし若者から希望を奪い取る社会悪の構造が見えます。近隣諸国と共に生きることを教えてこなかった“歴史教育”的大きなひずみが表れているようです。（瀬下）